

バリューレゾリューション™

ウェブ学修システム

ご利用マニュアル

<新VRS用>



アイアイシステムズ

Innovative Intelligence Systems

目次

はじめに.....	2
学修について	2
システム構成.....	3
1 マイページ タブ	3
2 PDCAサイクル学修 タブ	3
3 グループ学修 タブ	3
マイページについて	4
1 グループ学修進捗グラフ	5
2 PDCAサイクル学修グラフ	8
3アワードポイントグラフおよび比較順位表	9
4 参加中のウェブベース・グループ学修®	10
5 進行中のウェブベース・PDCAサイクル学修®	10
6 学修のお知らせ	10
7 運営からのお知らせ	10
学修の流れについて	11
ウェブベース・PDCAサイクル学修®	11
ウェブベース・グループ学修®	11
学修の進め方	12
ウェブベース・グループ学修	12
グループ学修の進行について	12
学修の参加予約(申込)	13
ウェブベース・PDCA サイクル学修	15
学修方法	16
PDCA サイクル学修: 学修画面	17
Flash Player の確認方法	18
確認テスト.....	20
認定講習会、その他	21
その他の機能表示	22
アワードポイントについて	22

はじめに

バリューレゾリューション™は、インターネットを介してご利用いただく、ウェブベースの学修システムです。利用希望者は、「一般社団法人 日本臨床検査技師会」会員専用サイトの登録時に発行される会員番号とパスワードでログインし、本システムの学修プログラムをご利用いただけます。

学修について



バリューレゾリューションは、二種類のウェブ学修をご用意しています。多数の受講者が一つの課題について回答を出し合い、お互いの考えを評価しあいながら学修する「ウェブベース・グループ学修®」と、受講者がいつでも自由に受講できる自己学修型の「ウェブベース・PDCA サイクル学修®」です。各学修の進め方については、(P-12以降)で詳しくご説明いたします。

なお、初回申込の方法やご利用に関するご質問などについては、下記リンクでご案内の「カスタマーサポートセンター」で詳細をご確認ください。

■アイアイシステムズ カスタマーサポートセンター

<https://ii-systems.zendesk.com/hc/ja/>



⚠ 「ウェブベース・グループ学修」、「ウェブベース・PDCA サイクル学修」は、アイアイ システムズの登録商標です。

システム構成



バリューレゾリューション™のシステムは、大きく分けて3つの機能によって構成されています。この機能は、ログイン後の画面の最上段に用意されている3つのタブを選択することによって、ご利用を進めていくことができます。

⚠ システム全体をとおして、選択されているタブは緑色で表示されます

1 マイページ タブ

一番左のタブは、マイページ機能です。この機能は、学修の進捗状況や成績など、受講者本人に関する学修情報をまとめています。そのほかに、システムや学修に関する各種のお知らせをまとめて閲覧できるように設計されています。詳しくは、次ページを参照してください。

⚠ マイページは、システムのホームページとして、システムにログインした時に、自動的に表示されます。また、システム中の、どの画面を表示させていてもマイページのタブをおせばログイン時の画面に戻ることができます。

2 PDCAサイクル学修 タブ

中央のタブは、「ウェブベース・PDCAサイクル学修®」の選択のタブです。このタブは、様々な個人学修教材を受講するための入り口となっています。このタブを選択すると、学修カテゴリごとのアイコンが表示されます。

自分の受講したい分野やコースを選択して学修をすすめる仕組みになっています。

3 グループ学修 タブ

このタブは、「ウェブベース・グループ学修®」を受講する為の入り口となっています。

課題の種別(カテゴリ)を選択すると、参加可能な(参加募集中の)グループ学修が表示されます。

自分の受講したい課題を選択して学修をすすめる仕組みになっています。

マイページについて

マイページ画面には受講者の学修履歴、結果や成績、現在受講中の学修についての情報と、各種のお知らせ欄が準備されています。

The screenshot shows the 'マイページ' (My Page) interface. At the top, there are navigation tabs for 'ウェブベース・PDCAサイクル学修' and 'ウェブベース・グループ学修'. The main content area is titled 'さんの現在の学修状況' (Your current learning status) and includes:

- ①** A bar chart for 'ウェブベース・グループ学修' showing '合格数' (Number of Passes) and '不合格数' (Number of Failures) for various courses.
- ②** A bar chart for 'ウェブベース・PDCAサイクル学修' showing '合格数' and '不合格数' for various courses.
- ③** '獲得アワード 46ポイント' (Earned Awards 46 Points) section, listing national and prefectural rankings for different course types.
- ④** A grid of course icons categorized into '一般グループ学修', 'R-CPCグループ学修', and 'PDCAサイクル学修'.
- ⑤** '進行中のウェブベース・グループ学修' section showing an active course '循環器疾患 [中級]' with a progress bar and '残り時間 00:57:45'.
- ⑥** '進行中のウェブベース・PDCAサイクル学修' section showing active courses like '1B-1-1_スパイロメトリーの実際 第一部' and '2-2-05_臨床検査室の施設基準 初級 採血実施場所' with progress bars.
- ⑦** '学修のお知らせ' (Learning Notices) section with a list of recent announcements.
- ⑧** '運営からのお知らせ' (Operational Notices) section with a list of recent announcements.

- ① ウェブベース・グループ学修®の進捗状況グラフ(受講済の課題数と合否を表示)
- ② ウェブベース・PDCA サイクル学修®の進捗状況グラフ(受講済みの教材数と合否を表示)
- ③ 「アワードポイント表示」システム独自の評価ポイントを表示。(詳細は巻末をご参照ください)
合格教材の点数を集計し、対全国、都道府県レベルで順位化。
⚠ 日臨技の生涯教育履修点数は、別途、日臨技の会員サイトでご確認下さい。
- ④ 受講済みの教材リンク(アイコンをクリックして、確認試験結果やフィードバックを確認できます)
- ⑤ 参加中のウェブベース・グループ学修®のステージ表示欄

- ⑥ 受講中のウェブベース・PDCA サイクル学修®の進行表示欄
- ⑦ 学修のお知らせ：学修の進捗に合わせて通知される案内を表示
- ⑧ 運営からのお知らせ：運営サイドからの受講者の皆様へのお知らせを表示
- ⑨ 「学修の進め方」(サポートセンターリンク)、「会員情報」アカウント情報の変更リンク、

1 グループ学修進捗グラフ

さんの現在の学修状況 2018年08月22日 08時47分

ウェブベース・グループ学修®

ウェブベース・PDCAサイクル学修®

獲得アワード 46ポイント

合格教材の全国順位
 PDCAサイクル学修：-位
 一般グループ学修：-位
 R-CPCグループ学修：-位

所属都道府県中の順位
 PDCAサイクル学修：-位
 一般グループ学修：-位
 R-CPCグループ学修：-位

一般グループ学修®

総論
キャリア開発
コアリディアップ

R-CPCグループ学修®

電気分解
血液
臓器

PDCAサイクル学修®

病棟業務
2A 血液検査
学修前対症療法
臨床検査技師の業務拡大
2J 通信検査
検査品質の向上

①

↓

さんの現在の学修状況

過去に学修したカテゴリです。アイコンを押すと学習結果を得られます。

コース	賞	順位	合否	得点	終了日
オープンコース ▶ 0808_TESTネフローゼ20名参加	ベストアンサー ▶ ベストオブベストアンサー的	1位 (18人中)	合格	100点	2018/08/09
オープンコース ▶ TESTネフローゼ症候群_3	ベストアンサー	1位 (3人中)	合格	73点	2018/08/17

②

⚠ 受講済のグループ学修のアイコン表示は、検査事例の解釈(R-CPC)とその他の学修とに分けて表示されています。

- ① 過去に学修したグループ学修のアイコン(分野)が表示されています。
- ② 選択しているアイコン(分野)の学修課題と結果を一覧表示しています。

一覧には、受講のコース名、賞(アワード)、合否判定、順位、偏差値、得点を学修の終了日を表示しています。さらに詳しい受講結果を振り返るために「フィードバック」が確認可能になっています。確認したい場合は、青字の課題タイトル(リンク)をクリックしてください。(詳細は次ページを参照してください)。

「フィードバック」表示では、以下の内容をご確認いただけます。

5

ウェブベース・グループ学修①
顔面と下腿のむくみ、および全身倦怠感が出現した40歳代男性

回答 → 回答見直し → グループ内評価 → グループ間評価 → 結果 → フィードバック

② グループ: 1/6
現在8グループ24人が参加中
グループ参加者: 4人

③ 問題を見る

グループ学修を退出する

あなたの評価が確定しました。プログラムリーダーからのフィードバックが届きました。

あなたの評価結果

④ グループ内評価: ★★★★★ 1 グループ間評価: ありません
ボーナスはありません ボーナスはありません

24位/24人中 偏差値: 23.8 総合点数: 16点合格

自分の回答を表示する

ベストオブベストアンサー... グループ1 - (20代 男性)

⑤

①生化学検査結果から、低蛋白血症(総蛋白6.0 mg/dl以下、アルブミン3.0 mg/dl以下)となっており、高脂血症(総コレステロール高値)を併発していることが特徴的である。また、ChEが高値であることから、低アルブミンの状態によって肝臓でのタンパク合成能が亢進していることが考えられる。

②尿検査では、蛋白が(4+)と漏出してきており、潜血も(2+)であることから、腎糸球体基底膜の障害が考えられる。

③血清蛋白分画ではα₂-グロブリン分画、α₁-グロブリン分画、β-グロブリン分画が上昇しており、特にα₂-グロブリン分画が増加している。これは、蛋白合成のが亢進しており、分子量がアルブミンに比べて大きいことから、糸球体を通過せず、血中に溜まるためであると考えられる。

①-③より、ネフローゼ症候群が考えられ、尿沈渣標本の確認を行うことで卵円形脂肪体、脂肪円柱、蠟様円柱などを確認することができると考えられる。

また、FDPの軽度上昇は、ネフローゼ症候群による、フィブリノーゲンの増加と、アルブミンと分子量がほぼ同じであるアンチトロンビンの喪失による凝固亢進によるものであると考える。

ネフローゼ症候群には腎疾患による一次性的の場合と、糖尿病や膠原病など全身性の疾患に付随して発症する二次性的のものがある。生化学検査において、他の項目に異常は認められなかったことから、二次性の可能性は低いことが考えられた。また、腎機能の低下は見られず、GFRも60.6 ml/min/1.73m²と正常もしくは軽度異常であった。臨床症状やこれまでの結果から考えると、微小変性型ネフローゼ症候群の可能性が高いと考えられた。これらを確認するためには、腎生検を行い、糸球体基底膜上皮細胞の変化を観察することや、二次性のネフローゼ症候群を疑う場合には抗体、補体や薬剤などの沈着を確認する必要があると考えられる。

(796/800文字)

評価平均: ★★★★★ 4.1

⑥ グループの回答を表示する

- ① 課題のタイトル
- ② 当該コースの参加人数とグループ数
- ③ 問題の内容確認ボタン: 出題内容を確認可能です。
- ④ 自分の受講結果: グループ内評価、獲得ポイント、順位、偏差値、総合点数。
- ⑤ ベストオブベストアンサー(グループごとのベストアンサーを評価しあった結果)
- ⑥ ベストアンサー(グループ内の評価で決定)と他の参加者の回答を確認できます

(次ページに続く)

(フィードバックの続き)

⑦

模範解答

著明なアルブミン減少と α_1 および α_2 -グロブリンの増加、総コレステロールとコリンエステラーゼの増加、そして高度の蛋白尿が読み取れる。注目すべきは低アルブミン血症と高度の蛋白尿である。尿中への多量のアルブミン排泄のために低アルブミン血症(浮腫誘発)と考えられネフローゼ症候群と診断できる。ネフローゼ症候群であればコリンエステラーゼや総コレステロールの増加も、肝臓でのアルブミン合成亢進に伴う酵素や脂質の合成亢進を説明できる。 α_2 -グロブリンの増加は大分子である α_2 -マクログロブリンの排泄障害によるだろう。血尿の存在は、ネフローゼ症候群の原因として糸球体腎炎を疑い、次に実施すべき検査は腎生検である。

(299/800文字)

⑧

プログラムリーダーから受講者全員へのコメント

全体に、たいへんよくできています。現役の臨床検査技師と退色のないまとめをした学生も複数います。いろんなまとめ方がありますが、秩序、病態生理を入れながら、すべての検査データが一元的に説明できることをめざしましょう。模範解答は必要最低限のことをあらわしています。解説を参考にしてください。

⑨

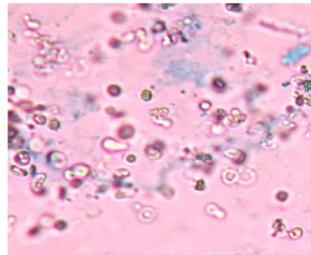
解説

「顔面浮腫の精査のため入院となった40歳代男性」
 2週間前より顔面と下肢のむくみ、腰部に鈍痛が出現し、次第に増強したため精査、加療目的で入院となり、尿中赤血球を認め、腎臓病を疑った。

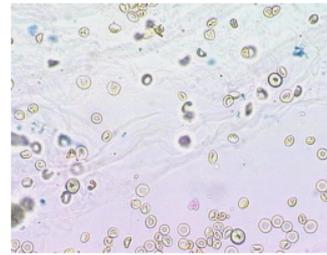
(一部省略)

メモ ネフローゼ症候群に特異性の高い円柱
 ネフローゼ症候群に特異性の高い円柱は、蠟様円柱および脂肪円柱である(写真2)。円柱ではないが、卵円形脂肪体も特異性が高い。ただし、これらのいずれかがみられるのはネフローゼ症候群の約半数例である。

⑩



変形赤血球(提示例)



非変形赤血球(結石)

写真1. 尿中赤血球形態



1 / 2



- ⑦ 模範解答
- ⑧ リーダーからのコメント: プログラムリーダーは、グループ学修のまとめ役です。リーダーから、学修全体の総評と、あなた自身へのアドバイスコメントが寄せられます。
- ⑨ 解説は、より深く学んでいただくために、事例に関する解釈を記載しています。(詳しい図表などのスライド資料が添付される場合もあります)
- ⑩ 解説スライド。解説用のスライドを表示します。左右ボタンで表示切替します。

2 PDCAサイクル学修グラフ



PDCA サイクルの受講済グラフはグループ学修と同様の情報表示です。
確認したい教材のアイコン(分野)をクリックして詳細を確認することが可能です。



- ①過去に受講した学修教材のアイコンが表示されています。
- ②今、表示されている学修結果のアイコン(分野)と、その分野の各科目の成績が、合否に関係なく全て一覧表示されます。確認試験の判定結果、点数、平均点、順位、偏差値を表示します。右隅の「過去の結果を見る」をクリックすると、その教材を複数回受講した時のすべての確認試験の結果を表示します。

3 アワードポイントグラフおよび比較順位表

① 獲得アワード 18ポイント

② 合格教材の全国順位

PDCAサイクル学修：19 位
一般グループ学修：- 位
R-CPCグループ学修：37 位

③ 所属都道府県中の順位

PDCAサイクル学修：17 位
一般グループ学修：- 位
R-CPCグループ学修：37 位

- ①アワードポイントは、学修成績に応じて、VR独自で加点する仕組みのポイントとなっております。
(現在、受講者様への還元については検討中です)
- ②ご自分の履修科目の総点数が、全国単位でどの程度のレベルにあるかの順位を表示します。
- ③都道府県単位でのレベル表示。

このポイント表示は、履修目標の目安としてご利用ください。

- ⚠ アワードポイントは、日臨技の生涯教育履修点数とは別のものです。
生涯教育履修点数については、日臨技の会員サイトにてご確認いただけます。
- ⚠ 日臨技の会員サイトに、所属の都道府県登録が無い方は、都道府県順位は表示されません。
- ⚠ アワードポイントの配点方法については巻末の資料をご参照ください

4 参加中のウェブベース・グループ学修®



参加中(現在進行中)のグループ学修のステージと、そのステージ終了迄の残り時間を表示します。学修タイトル(青字)のリンクをクリックすると学修画面にジャンプします。この情報欄は進行中のグループ学修のみ表示しますので、グループ学修に参加していない場合は、「現在、該当するコンテンツはありません」と表示されます。

5 進行中のウェブベース・PDCAサイクル学修®



受講中の自己学修の項目を表示します。学修状況と、進捗を表示しています。タイトルリンク(青字)をクリックすると、中断した学修ページを表示し、学修を再開することができます。

6 学修のお知らせ

学修の進捗に合わせて各種のお知らせが届きます。リンクをクリックすると、当該学修のページを表示します。このお知らせの受信は任意に設定可能です。

7 運営からのお知らせ

運営サイドからのお知らせ表示欄です。リンクをクリックすると詳細情報を表示します。

 お知らせの表示期間は、内容によって異なりますが、原則 3 か月です。

学修の流れについて

ウェブベース・PDCAサイクル学修®

ウェブベース・PDCAサイクル学修®は、学修科目を、複数のカテゴリと分野に分類しています。さらに、学修教材は、受講者の知識レベルや経験に合わせて選べるように、5種類のコース(新人、初級、中級、上級、オープン)をご用意しています。

* : 検査事例の解釈は、グループ学修のみのカテゴリとなります。

* : 学修を終えたら、確認テストを受けていただきます。

確認試験の結果判定は、A(80点以上)、B(60~79点)、C(59点以下)の3段階となります。

判定Aと判定Bは合格(学修完了)となり、合格した科目にリンクしたグループ学修の受講が可能となります。

判定Cは不合格となり、再度、学修しなおし、合格判定を得るまで受けなおすことができます。

⚠ PDCAサイクル学修は、可否に関係なく、何度でも受講、確認試験を受けていただく事が可能です。但し、グラフに表示される合格科目数のカウントは重複されません。

ウェブベース・グループ学修®

グループ学修は、複数の受講者が一つの課題に参加し、お互いの回答を参考にしながら最良の回答を導き出す形式の学修です。

グループ学修には、

① PDCAサイクル学修リンクした課題

予め、PDCAサイクル学修を受講し、確認試験に合格することが参加条件となります。

② 検査事例の解釈(R-CPC)

PDCAサイクル学修の受講と関係なく、参加いただける課題。

⚠ 受講者が参加可能なグループ学修の課題は、上記の条件に合わせて参加可能な課題が自動的に表示されます。

学修の進め方

ウェブベース・グループ学修

グループ学修の進行について

グループ学修は下図の要領で進行します。



1. 参加テーマ決定(参加予約)→学修開始
2. 回答(一回目)。回答には、文字数制限が予め設定されています。(文字数を超えると赤字となり、回答を保存、提出することができません。) 次ページの回答欄をご査証ください
3. 回答(二回目見直し)一回目の回答が締め切られると同時に二回目のセッションが開始されます。あなたは、他の参加者の回答を確認し、参考にして二回目の回答を行います。
4. 他の参加者の回答を評価します。 → ご自分が参加したグループのベストアンサーが確定します。
5. 多数のグループが参加している場合、次に、グループ間の評価ステージを実施します
6. セッションが終了となり、最も評価の高かったグループの回答がベストオブベストアンサーとなります。
7. 結果が出てからしばらくすると、修了者全員にフィードバックが提供されます。
受講者は、自分の順位と評価ポイントを確認することができます。ボーナスとして以下のポイントが用意されています。
 - ・ ベストアンサー : グループ内のベストアンサーに選ばれたとき
 - ・ ベストオブベストアンサー : グループ間の評価でベストアンサー(ベストオブベストアンサー)に選ばれたとき
 - ・ ベストアンサーを的中させたとき: あなたが最高評価した回答がベストアンサー(およびベストオブベストアンサー)に選ばれたとき
 - ・ このポイントは、将来的に表彰や受講者特典としての還元を検討中です。フィードバックには、模範解答と解説および、あなたに対するアドバイスが提供されます。このフィードバックはマイページで説明したように、何時でも振り返って復習することが可能です。

学修の参加予約（申込）

- ① 最上段にあるタブの右側「ウェブベース・グループ学修®」のタブを選択します。
- ② 検査分野別学修、検査事例の解釈、医療人・職業人スキルセットの 3 種類のタブが表示されます（デフォルトは、検査分野別のタブが選択されます）。
- ③ 自分が参加したい分野のタブを選択します。（例：検査事例の解釈）
- ④ 募集中の課題が表示されます。参加あるいは確認したい場合、青字のタイトルリンクか、参加予約画面へのボタンをクリックします。



- ⑤ 募集人数、開始条件、予約状況、各ステージの制限時間が確認できます。「参加予約する」をクリックします。予約と同時に「キャンセル」ボタンに変化しますので、学修が開始されるまでの間は、キャンセルすることが可能です。



⚠ 募集画面に戻ると、あなたの表示は待機中になっています。募集欄の表示は、その学修課題が開始されると同時に非表示となります。

以上で、参加申し込みは完了です。この段階で、マイページの学修のお知らせ欄に参加申し込み済みの表示が追加されています。また、同内容のお知らせメールがあなた宛てに送信されます。グループ学修は、ステージの進捗に合わせて、メール案内を送信する仕組みになっています。



参加予約したグループ学修が定員になると学修がスタートします。

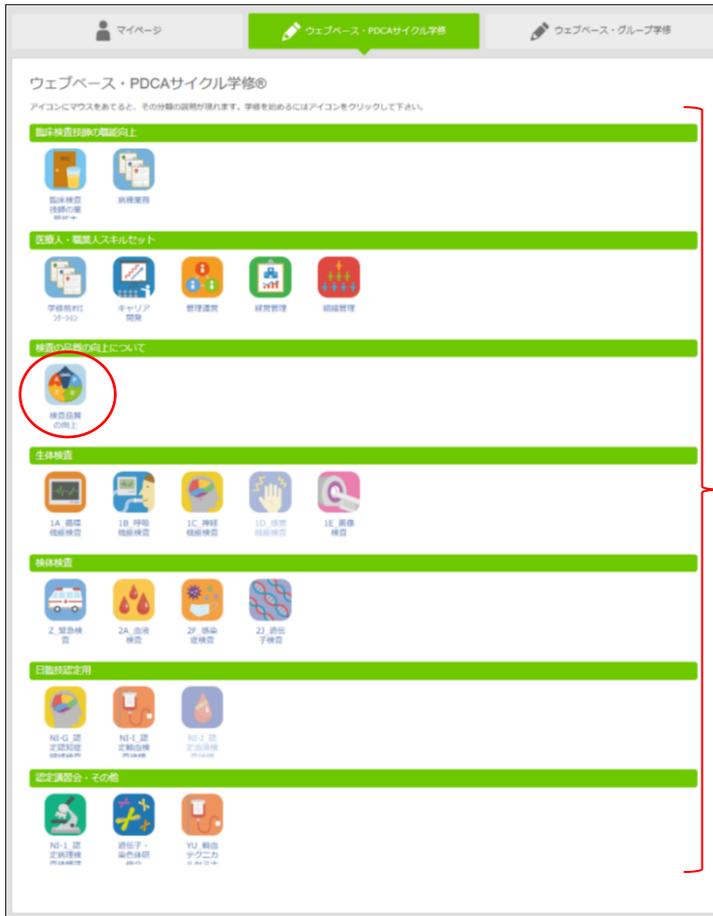
開始されると同時に、進捗状況はマイページの参加中のグループ学修欄に表示され確認することができます。

なお、各ステージには期限が設けられています(課題にもよりますが、通常は、各ステージ一週間あるいはそれ以上)。期限内に完了しない場合は、その時点で辞退となり、以降のステージに進むことができなくなります。したがって、学修は未完了となります。

⚠ 再度募集あった場合は、学修のお知らせ欄に参加受付が表示されます。

ウェブベース・PDCA サイクル学修

中央の「ウェブベース・PDCA サイクル学修®」タブをクリックすると、学修一覧が表示されます。



学修カテゴリと分野のアイコン

- 臨床検査技師の職能向上
- 医療人・職業人スキルセット
- 検査の品質の向上について
- 生体検査
- 検体検査
- 日臨技認定用
- 認定講習会・その他

PDCAサイクル学修は、臨床検査技師の職能向上、医療人・職業人スキル、検査品質の向上、生体検査、検体検査、日臨技認定用、認定講習会・その他のカテゴリで構成されています（緑帯）。

⚠️ 学修のカテゴリは適宜、追加変更となる場合があります

各カテゴリ下には、検査項目あるいは学修内容に応じた分野ごとの学修アイコンが設定されており、このアイコンを選択すると、具体的な学修教材（コンテンツ）が表示されます。

「臨床検査における QMS（初級）」について学修したい場合を例にすると、まず、カテゴリの中から、「検査品質の向上」のアイコンをクリックします。すると、さらに検査品質関連の学修コンテンツが表示されますので、その中から「臨床検査における QMS」を選択していただく事になります。



⚠️ 既に受講している科目には、確認試験の判定結果が表示されます。

- 判定A** 80 点以上（合格）
- 判定B** 60 点以上 80 点未満（合格）
- 判定C** 60 点未満（不合格）

学修方法

- 各学修分野のアイコンをクリックし、学修内容画面を表示させます。
 - 学修内容画面に表示された学修教材(コンテンツ)のリンクをクリックすると当該の教材コンテンツが開始されます。
この学修は、スライド(動画)を中心とした学修です。ナレーションを聞きながら、あるいは、ナレーションをオフにして説明文を読みながらでも学修可能です。
なお、学修コンテンツは、その内容や時間の長さによって分割される場合があります。
途中で学修を停止(中断)する事も可能です。日を変えて、改めて中断箇所から学修を再開する事が可能です。もちろん最初からでもかまいません。
 - 学修を終了すると、確認試験を受けて頂きます。結果判定は、ABCの三段階となり、C判定は不合格となります。この確認試験は合格に関係なく何度でもチャレンジできます。反復学修する事で受講者の知識、理解度を確実に向上させることが可能です。そしてこの結果は、常にマイページの成績、学修進捗情報に反映されます。
なお、分割された学修コンテンツの場合は、最終のコンテンツ受講後に確認試験を受けることができます。
- ・この確認試験の判定結果は、グループ学修メニューの選択可能項目にも反映されます。

The screenshot shows the 'ウェブベース・PDCAサイクル学修' (Web-based PDCA Cycle Learning) interface. The main menu includes categories like '臨床検査技師の能力向上' (Improvement of Clinical Laboratory Technician Skills), '医師・職業人スキルセット' (Physician/Professional Skills Set), and '検査の品質の向上' (Improvement of Inspection Quality). The '検査の品質の向上' icon is circled in red and labeled with a red '1'. A red arrow points from this icon to a detailed view of the course 'ウェブベース・PDCAサイクル学修 - 検査品質の向上' (Web-based PDCA Cycle Learning - Improvement of Inspection Quality), which is also circled in red and labeled with a red '2'. This detailed view shows the course description, a list of learning content under '検査品質の向上の学修内容' (Learning Content for Improvement of Inspection Quality), and a table of course levels (初級, 中級, 上級) for OMS and ISO15189.

検査品質の向上の学修内容	
OMS	ISO15189
<ul style="list-style-type: none"> 初級コース 2-2-01. 品質マネジメントシステム(QMS)とは 初級コース 2-2-02. 臨床検査におけるQMS 初級コース 2-2-03. QMSを構築すること 初級コース 2-2-04. QMSを運営すること 初級コース 2-2-05. 臨床検査室の施設基準 初級コース 2-2-06. 臨床検査における認定制度 初級コース 2-2-07. 臨床検査業務の質の評価と改善について 	<ul style="list-style-type: none"> 中級コース 2-2-08. OMSとISO15189 中級コース 2-2-09. OMSの組織体制と文書・記録管理 中級コース 2-2-10. 検査サービスの委託、委託、購買管理 中級コース 2-2-11. OMSの維持と改善 中級コース 2-2-12. "OMSの評価と監査" 中級コース 2-2-13. マネジメントレビューと継続的改善 2-2-14. 検査室の能力整備 <ul style="list-style-type: none"> 中級コース 2-2-14-1. 検査室の能力整備 (要員) 中級コース 2-2-14-2. 検査室の能力整備 (施設及び環境条件) 中級コース 2-2-14-3. 検査室の能力整備 (備材、試薬及び消耗品) 中級コース 2-2-15. 検査前プロセス (検査実行) 中級コース 2-2-16. 検査プロセス 中級コース 2-2-17. 検査結果の品質の確保 中級コース 2-2-18. 検査後プロセス

👉 受けたい教材コンテンツのリンクをクリック

PDCA サイクル学修： 学修画面

QMSを構築するということ 初級

自己学修を中断する

このカリキュラムでは、臨床検査部門におけるQMS（概要）の中で、簡単に触れた、「QMSの構築」について、もう少し詳しくお話しさせていただきます。

QMSの構築には様々なアプローチ方法が存在します。

皆さんは、「検査の実作業の事なら、ルールも作りやすいし理解しやすい。しかし、検査室全体のQMSとなると何処から手を付けてよいのかよくわからない。」と、感じているのではないのでしょうか？

この学修は、QMS構築のためのアプローチについて、皆さんが取り組むための基本的なポイントを学んでいただきます。

QMS構築ということに限らず、今ある皆様のQMSを見つめなおすヒントとなれば幸いです。

2.2 品質管理

2.2.3 QMSを構築するということ

初級編

アイアイシステムズ

00:00:00/00:18:16 1 / 14 残り18分

自己学修を中断する

QMSを構築するということ 初級

QMSを構築するということ

QMS構築へのアプローチ

QMS構築への関連性は...

QMS構築への正しいアプローチ

コアプロセスとサポートプロセス

プロセスマッピング

まとめ

確認テスト

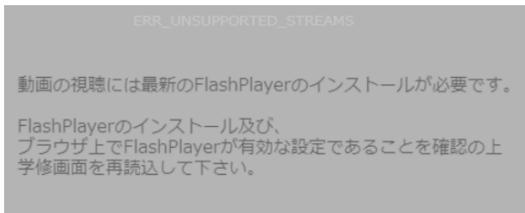
- A) 目次: 目次ボタンをクリックすると、学修の目次が横にスライドして表示されます。目次をクリックして学修画面をジャンプさせることができます。
- B) 学修画面
- C) テキスト表示: 当該ページの内레이션がテキスト表示されます。
- D) 学修開始ボタン: このボタンをクリックして学修を始めます。一時停止可能です。
- E) 学修ページの > 送り、< 戻りのボタン
- F) このボタンを押すと、学修を途中中断することができます。 中断した学修は、マイページの「進行中の学修」にリンク付きで表示されます。 中断した学修を再開するときは、リンクをクリックします。 動画コンテンツでも、中断した箇所からの再開が可能です。

⚠ 教材の再生には、Flash Player が必要となります。

Adobe Flash Player は、web コンテンツの音声や動画を再生するためのソフトです。一般的には Flash Player と呼ばれています。Flash Player は無償のソフトウェアです。Adobe 社 Web ページにおいて無料で配布を行っています。

このソフトの設定方法や確認方法は次ページをご確認ください。

⚠ 教材コンテンツの再生時に、下図のメッセージが表示される場合、Flash Player のインストールがするか、もしくはインストールされていても有効化の設定を行う必要があります。



ご利用中の PC の状態を確認するために IIS では、Flash Player 確認用チェックページをご用意しています。下記の手順に従い、チェックを行ってください。

メッセージが表示されず、通常とおり再生される場合は、以下の作業の必要はありません。

Flash Player の確認方法

Flash Player のチェックページをご用意しました。

確認手順

1. ご利用のブラウザを立ち上げます。
2. VRS にログインします。
3. 下記リンクをクリックします。

<https://jamt.ii-systems.com/flashcheck/index.html>

アニメーションが表示され、再生出来たら Flash Player のインストール、有効化は必要ありません。下図が表示された場合は、ブラウザごとの案内に従い設定を行ってください。



Google Chrome をご利用の場合

ログインの指示を詳細に書き直し

以下の手順でお使いのPC内の設定を確認し、必要な設定を行ってください。

なお、Flash Playerは、お使いのブラウザごとに設定する必要があります。

1. パソコンでChromeを開きます。
2. バリユーレゾリューションにログインします。
3. ウェブアドレスにある左側のカギマーク、またはインフォメーションマークをクリックします。



4. 一番下の[サイトの設定]をクリックします。



5. 新しいタブが表示されますので、[Flash]の右側で[許可]を選択します。



6. 上記3で[Flash]の表示がない場合はプログラムのインストールが必要です。
7. 添付リンク (Adobe社ダウンロードサイト) の案内に従って、ダウンロードとインストールを実施してください。その後、有効化の作業を行ってください。

* Flash Player のダウンロードは下記リンクから

<https://get.adobe.com/flashplayer/?loc=jp>

* 他のブラウザの設定確認については、下記リンクをクリックしてください

ブラウザおよびログインの詳細指示を記入

- IE(インターネットエクスプローラー) <https://ii-systems.zendesk.com/hc/ja/articles/360010361751>
- Edge(エッジ) <https://ii-systems.zendesk.com/hc/ja/articles/360010367551>
- Firefox(ファイヤーフォックス) <https://ii-systems.zendesk.com/hc/ja/articles/360010148212>
- iOS 用サファリ(Safari) <https://ii-systems.zendesk.com/hc/ja/articles/360010947032>

確認テスト

学修内容が理解されたかどうかの確認テストを受けていただきます。

問題はコースによって 10 問～20 問、5 択方式(一部 2、3 択の問題あり)で出題されます。

試験終了直後に、判定が表示されます。

判定 A: 80 点以上 (合格)

判定 B: 60～80 点未満 (合格)

判定 C: 60 点未満 (不合格)

※ 判定はマイページのグラフに反映されます。確認試験は合否に関係なく何回でも受けなおすことが可能です。

※ 確認試験も学修と同様に、中断、再開が可能です。

問1

品質管理システム (QMS) について、正しい記述を一つ選んでください。

- 1. 上司の指示があったので、決められた手順とは違う対応をした
- 2. 臨床検査室は、一度決めた規則を変えてはならない
- 3. 病院の教育制度があるので、臨床検査部門のQMSに教育制度は必要ない
- 4. 規則は定期的に見直すのが、必ず改定するわけではない
- 5. 検査業務の目標達成度は、顧客満足度のアンケート結果で決まる

次へ

認定講習会、その他

認定講習会は、実際に行われた認定検査技師の講習会や研修会の模様を収録したコンテンツ、あるいは講演資料にナレーションとテキストを追加したコンテンツで視聴することが可能です。視聴したいアイコンをクリックしていただいて、視聴を開始していただけます。

PDCAサイクル学修と同じ画面構成となっており、途中中断、再開も自由です。



The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing three items: 'マイページ' (My Page), 'ウェブベース・PDCAサイクル学修' (Web-based PDCA Cycle Learning), and 'ウェブベース・グループ学修' (Web-based Group Learning). The main content area is titled 'ウェブベース・PDCAサイクル学修® - NI-1_認定病理検査技師講習会 -'. Below the title is a sub-header '「認定病理検査技師講習会」の講演内容から作成されたPDCAサイクル学修です。' and a microscope icon. The main section is 'NI-1_認定病理検査技師講習会の学修内容'. It features two tabs for '2016年度' and '2017年度'. Under the '2016年度' tab, there is a list of topics, each preceded by a right-pointing arrow and the label 'オープンコース' (Open Course). The topics are: 'NI-1-1-1_危機管理・リスクマネジメントに必要な知識と手法', 'NI-1-1-2_病理検査室の作業環境対策に必要な知識と技能 第一部', 'NI-1-1-2_病理検査室の作業環境対策に必要な知識と技能 第二部', 'NI-1-1-3_病理検査室におけるバイオハザード対策に必要な知識と技能', 'NI-1-1-4_検体受付・検体処理・包埋までに必要な知識と技能', and 'NI-1-1-5_遺伝子検査の基礎'.

 このコンテンツは、認定検査技師の取得を目指す方の参考として学修していただくための教材です。実際の認定講習会参加を免除するものではありません。

その他の機能表示

バリューレゾリューション™の画面右上に表示されている機能について



バリューレゾリューション™は、利用者向けのサポートリンクと、独自のポイント機能を有しています。

A: 学習の進め方 利用者向けのサポートセンターへのリンクです。ご利用方法やよくある質問などをご案内しています

B: 会員情報 会員情報、契約変更手続き(退会を含む)へのリンクです。

C: ポイント バリューレゾリューション独自のポイント制度の表示画面です。

⚠️ アワードポイントは、このシステム独自のポイントです。日臨技の生涯教育点数とは連携していません。ご注意ください。

このポイントは、積算され、学修画面の右上に表示されます。

アワードポイントについて

アワードポイントは、以下の学修結果に対して付与されるポイントです。

1. PDCAサイクル学修の確認テストで、A判定(80点以上)の受講者に5点
2. グループ学修の結果、以下の条件に当てはまる受講者に付与されます
 - ・ベストアンサー、ベストオブベストアンサーに選ばれた受講者に5点
 - ・上記を的中させた(評価した)受講者に1点

※詳細は次ページの図をご参照ください。

⚠️ アワードポイントの運用、受講者への還元方法については、現在検討中です。

図 1 グループ学修のアワードポイント配点

